



一般社団法人（非営利）アジア自立支援機構（GIAPSA）

2023 年度事業計画書

（2023 年 4 月 1 日—2024 年 3 月 31 日）

2023 年度の事業計画の概要

A. 2023 年度事業予算の推定

前年度からの繰越金（円）	135,166 円
前年度からの繰越金【タイバーツ】 110,464 バーツ	441,856 円
社員からの年会費	40,000 円
寄付金	2,850,000 円

2023 年度推定事業予算の合計	3,467,022 円

B. 2023 年度支出の予測（事業の進行状況により多少の変更あり）（両替レート：1 バーツ=4 円）

	<u>タイバーツ</u>	<u>日本円</u>
1. タイ北部メーチャンタイ村コーヒー事業	150,000 バーツ	600,000 円
2. メーチャンタイ村へのスタディツアー支援事業	113,000 バーツ	452,000 円
3. メーチャンタイ村へのコーヒー販売促進支援事業	0 バーツ	0
4. チェンマイ県チェンダオ女性グループ支援事業	28,000 バーツ	112,000 円
5. バングラデシュでの活動	0 バーツ	0
6. タイ南部サゴヤシ保全と有効利用支援事業	0 バーツ	0
7. その他の事業活動費	67,000 バーツ	268,000 円
8. 共通経費及び事務経費、予備費	n/a	2,035,022 円

2022 年度事業支出（推定額）の合計	358,000 バーツ	3,467,022 円

2023 年度の活動計画の詳細

1. タイ北部メーチャンタイ村コーヒー事業への支援

チェンライ県の山岳部、標高 1400 メートルに位置するアカ族の村メーチャンタイ村の村民 40 戸が全戸参加し、自主的に立ち上げた農業生産者組合の持続可能な運営への支援を継続する。2021-2022 年度は当法人が 2020 年度に寄贈したコーヒー豆の焙煎機と脱穀機使用によるコーヒー豆加工のサービス料を利用者（村人）から徴収することで村のコミュニティ基金が設立され、年間約 200,000 バーツ（約 80 万円）のコミュニティ基金が村の福祉事業や公共の目的に利用された。2023 年度は、この重要な取り組みを更に充実させ、基金の恒久的確立と持続的運営、及び有効利用を確実にする為のモニターやアドバイスを提供する。

メーチャンタイ村でコーヒー栽培が始まり 20 年以上が過ぎた。多くのコーヒーの木は生産年齢が古くなり、新しく良質で生産性の高いコーヒーの木を植えてコーヒーの木の若返りを図る時期にきた。2023 年度の事業運営委員会において世界の最優良品種であるパナマ原産の GESHA 種のコーヒーの苗木を植林して、メーチャンタイコーヒーの更なる品質改良を図る結定があった。これに呼応して、当法人は一戸当たり 100 本の GESHA 種のアラビカコーヒーの苗木を提供する（40 戸の合計 4,000 本）することで合意した。苗木の輸送や関連経費は村が負担することで合意した。

又、村の天然湧き水を利用した水道設備が古くなり、貯水槽やパイプなどの新設や修理をする必要が指摘された。村のコミュニティ基金が十分でない為、当法人からの支援が要請された。建設などに要する人件費は村が負担する。

それぞれの具体的な活動予算の内訳は以下である。

- GESHA 種コーヒー苗木 @ x 25 バーツ x 4,000 本 = 100,000 バーツ
- 公共水道設備修理費用（貯水槽、パイプなど） = 50,000 バーツ

（但し、実際に費用が高くなる可能性があり、流動的に対応することとする）

計

150,000 バーツ

2. メーチャンタイ村へのスタディツアー支援事業

2022 年に実施したスタディツアーは好評で、2023 年度も年に 2 回（2023 年 8 月末と 2024 年 1 月中旬）に実施することで事業運営委員会で合意を得た。参加人員は各回 25-26 人、チェンライ空港集合、解散で一泊 2 日とする。具体的な予算の見積もりは以下である。

1. 宿泊費（一泊 2 食付きホームステイ費用）@650 バーツ x 26 人	=16,900 バーツ
2. 昼食代（村にて）@100 バーツ x 26 人	= 2,600 バーツ
3. カルチャーダンス礼金費用	= 3,000 バーツ
4. 村人との懇親会、イベント費用	= 3,000 バーツ
5. 4 輪駆動による交通費 @1,000 バーツ x 5 台	= 5,000 バーツ
6. ミニバンレンタル費用@2,000 x 3 台 x 2 日	=12,000 バーツ
7. ミニバン燃料代金@1,000 バーツ x 3 台	= 3,000 バーツ
8. 通訳礼金 @1,000 x 2 日	= 2,000 バーツ
9. 航空賃 バンコクーチェンライ（小沼とタイ人サポーター 2 人）	=9,000 バーツ
合計（1 回の費用）	56,500 バーツ
総計（2 回分） 45,500 バーツ x 2 回	=113,000 バーツ

3. メーチャンタイ村へのコーヒー販売促進支援事業

メーチャンタイ村が主体となり運営されているバンコクのコーヒー店への法人としての支援は、経理上の難しさを避けるために技術や管理経営などのアドバイスにとどめ、法人予算のコーヒー店への支出はしないこととする。

2023 年度は東京（原宿）に 1 軒、熊本に 1 軒、合計で 2 軒のメーチャンタイコーヒーの専門店が日本に開店する。これらに対して、当法人はアドバイス等の支援を行う。

4. チェンマイ県チェンダオ女性グループへの支援

2023 年度の新規事業として、アカ族のチェンダオ村の工芸品を作成する貧しい女性グループへの、工芸品の販売を促進するための支援を始める。2023 年度は 2 回（2023 年 5 月と 10 月）の出張を計画しており、将来のスタディツアー実施の可能性も探る。

予算としては一回の日帰り出張で、タイ人のサポーターと通訳を入れて

1. バンコクーチェンマイ航空賃 @ 3,000 バーツ x 3	= 9,000 バーツ
2. ミニバンレンタル@2,000 x 1 日	=2,000 バーツ
3. 燃料費	=1,000 バーツ
4. 通訳手数料 @ 2,000 バーツ	=2,000 バーツ
<hr/>	
合計	14,000 バーツ
2 回分 14,000 バーツ x 2 回	28,000 バーツ

5. バングラデッシュの小規模農民への支援

この活動は一般社団法人シェア・ザ・プラネットの事業に対する技術支援で、2023 年から 2024 年（時期に関しては調整中）にかけてバングラデッシュの現地を 1 週間ぐらいの予定で訪問する。費用はシェア・ザ・プラネットから提供されるため当法人の予算に加えられていないが、将来、JICA の草の根支援事業と当法人の予算で支援可能な活動の発屈と可能ならば事業案作成を行う。又、JICA 草の根支援事業案の作成を急ぐ必要が生じる場合は、当法人の予算でバングラデッシュへ 5 日間程度の日程で出張することとする。

6. タイ南部のサゴヤシ林の保全と有効利用

当法人の活動は 2022 年度で完了した。

7. その他の活動事業

下の予算を暫定的に計上した。

1. 第 11 回持続可能な科学技術統合国際会議協賛費	20,000 バーツ
2. 国際サゴヤシ学会共催費 9 万円 (日本円口座から支出)	27,000 バーツ
3. その他の出張など	20,000 バーツ
<hr/>	
合計	67,000 バーツ

8. 共通経費、事務経費、予備費	2,035,022 円
<hr/>	